

令和2年3月12日発行

せんなんネットワーク

第123号

発行：みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部

会員活動紹介

結成29年を迎える長寿団体

福祉劇団「鶴亀」(柴田町)



踊りの練習に励む会員の皆さん。
長時間の練習でも全員が楽しく活動していました

福祉劇団「鶴亀」は平成3年に結成された団体で、現在10名の会員で活動しています。主な活動は「社会福祉サービスに関する劇」を依頼のあった福祉施設などで上演することで、結成から現在に至るまで、依頼は全て引き受けることを基本理念にしています。

台本は現団長の加茂紀代子さん(下写真・前列中央)が第1回から執筆しており、依頼先が希望する公演時間やテーマに合わせ、全員で話し合いながら劇の内容を調整しているとのこと。会員同士が信頼しあっているからこそ本音で話すことができるそうで、練習中は間違っている点や改善点などについて積極的にコミュニケーションをとります。

今後の団体の方針は「会員みんなが今のまま元気であること」と話していました。

☆連絡先 【柴田町社会福祉協議会】 TEL 0224-58-1771

☆団体概要や公演依頼はこちらから(柴田町社会福祉協議会HP) →



地域の情報

「百（M o M o）」が川崎町で活動中。里山でエコビレッジの完成を目指す



メンバーのイメージカラーは、赤・青・緑。

杉の伐採も自ら行いました

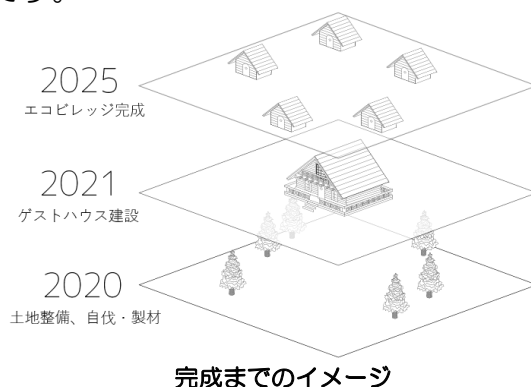
川崎町地域おこし協力隊の隊員でもある拙（みかづき）昌汰さん（写真左）は、「宿泊の提供だけでなく、その土地で採れた作物の加工体験なども行っていきたい」と話していました。

☆HPはこちら（Instagram, Facebook 等 SNS も御覧いただけます）→



百（M o M o）は、暮らしの基盤となるベーシックインフラ（生活に最低限必要な食料とエネルギー）を完備した地域自給率100%のエコビレッジの完成を目指して活動している団体です。メンバーの3人それぞれが得意分野を活かし、2018年から活動を展開しています。

現在、青根温泉の麓で15,163m²の杉林の整備を進めており、2025年を目標にエコビレッジの完成を目指しています。第1ステップとして、ベーシックインフラを備えた暮らしを体験できるゲストハウスを建設し、農作業など里山での暮らしの魅力も併せて体験できる施設として運営していくとのことです。



地域おこしの仲間づくりを支援 ～地域おこし協力隊通信 Vol. 7～

仙南圏域地域おこし協力隊交流会開催

昨年12月23日、村田町を会場に今年度2回目の仙南圏域地域おこし協力隊交流会を開催しました。

始めに、村田町でまちづくりに取り組んでいる（株）まちづくり村田から同社の事業等についてお話を伺った後、仙南地域への理解を深めてもらうため、蔵の町並み見学を行いました。国の重要文化財に指定された大沼家住宅（やましょう記念館）を見学した後、同町で活動している一般社団法人伊達女（だてのくのいち）の代表からまちづくりへの想いや今後の事業展開等について伺いました。

見学後は、武家屋敷で町内の銘菓を食べながら、協力隊員相互の情報交換を行い、それぞれの活動や抱えている課題、悩み等について話し合いました。

参加者からは、「各隊員の話聞いて頑張る気持ちが湧いた」などの声が聞かれました。



武家屋敷での情報交換

仙南支部交流会を初めて他県で開催

みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部交流会を1月22日に開催し、仙南地域で活動する地域づくり団体・地域おこし協力隊の方々に御参加いただきました。

第1部 NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会による 取組紹介&道の駅見学

第1部では、福島県二本松市にある「道の駅ふくしま東和」を訪問し、運営団体である「NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」から、取組について紹介いただきました。

平成17年に設立した協議会は、阿武隈山系東和地域の里山の自然や歴史、景観を保全し、地域資源循環のふるさとづくりを推進するため活動しています。



直売所の商品などについて詳しく説明していただきました

東和地区は、「桑」の町として知られており、「道の駅ふくしま東和」では、桑の加工品として、ジャムやお茶などの様々な商品を販売しています。桑の葉や実を加工する工場を実際に見学させていただくなど、とても貴重な体験となりました。

☆連絡先 TEL 0243-46-2113

HPはこちら→

(商品のお取り寄せも御利用いただけます)



桑の加工場は廃校した学校を利用しています

第2部 伊達市地域おこし支援員 野村 明祥氏による取組紹介

第2部では、同県伊達市にある月舘中央交流館にて、市内の糠田地区を担当する地域おこし支援員(協力隊)の野村明祥(あきよし)さんに、取組について紹介いただきました。

野村さんは、グリーンツーリズムとサイクルツーリズムの2つを柱に活動しており、独自に考案した「地域おこし協力小隊」という大学生ボランティアとともに地域づくりに取り組んでいます。地域づくりを進めるに当たって、地域の声を聞くことを大切にしており、何かを始めるときは常に住民の方に意見を求め、ともに地域づくりに励んでいるとのことでした。
(次頁へ続く)

また、サイクルツーリズムは現地で
の飲食物の消費量が多く、顔が見える
ため、地域の方とのコミュニケーション
が生まれやすいことから、地域を盛
り上げるコンテンツとして非常に有
効とのことでした。

なお、野村さんは3月で任期を終え
ますが、その後も伊達市で活動を継続
するそうです。



地域づくりに積極的に取り組まれている姿勢が伝わってきました

初めての他県開催となった交流会を通して、参加者からは「どちらの取組でも、自分たちに何ができ、何が必要とされ、何をしたいかをしっかり考えていると感じた」「今後の活動のヒントがもらえた」などの声が聞かれました。また、参加した地域づくり団体と地域おこし協力隊のつながりや、両県の地域づくりに取り組む方々同士につながりができた様子でした。

お知らせ

事務局からのお知らせ

情報提供に御協力をお願いします

仙南支部では、地域づくりに関するイベントや参加者募集など、皆さまからいただいた情報を支部ホームページに随時掲載します。また、チラシ等も県大河原合同庁舎をはじめとする管内の公共・集客施設等に設置します。

PRしたい情報がありましたら、下記の宛先までお送りください。皆さまからの情報提供をお待ちしています。

会員訪問を実施しています

仙南支部事務局では、会員の皆様の活動状況等についてお伺いするため、会員訪問を実施しています。事務局から連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本誌についての御意見や、当支部についての御意見・御要望等ありましたら、こちらまでお寄せください。

《みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局》

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班

〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1

電話 0224-53-3199 FAX 0224-53-3076

e-mail oksinbk@pref.miyagi.lg.jp

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/tiikidukuriindex.html>